



# JAかとり営農情報

【ごあいさつ】

「JAかとり」では現在、組合員の皆様へのタイムリーな情報提供や、活動内容を紹介するため、経済渉外担当を中心に定期的な訪問活動を行っております。是非「営農情報」をご覧頂き、ご意見ご要望がありましたら、担当職員へどしどしお申し付け下さい。

## 営農生活課

### 《稲刈り後ジャンボタニシの防除について》

本年度もジャンボタニシによる被害がみられました。被害があった水田では、1～2月の厳寒期にロータリー耕を行いましょ。越冬中の貝を破碎し、また寒気にさらすことによって駆除することができます。通常の半分ほどの速さでゆっくりと耕運して下さい。

石灰窒素による駆除も可能です。収穫後、水温20℃以上の時期に湛水状態をつくり、3～4日後に石灰窒素を10a当り20～30kg散布後、5～6日湛水で保ち、自然落水させましょ。

また、ジャンボタニシは自力で異なる水系へ移動することはありませんが、コンバイン・トラクター等のキャタピラの側面等に付着した泥や藁とともに運ばれることによって分布が拡がるがあります。圃場間の移動のたびにこまめに清掃し、未発生地域にジャンボタニシを持ち込まないように注意ましょ。また、捕獲したものを安易に他の場所に投棄しないようにましょ。

### 《甘藷の害虫の発生について》

管内の主要病害虫発生状況としてナカジロシタバ、イモキバガの発生量は平年並みという調査結果が出ています。早期発見に努め、捕殺や薬剤防除を行って下さい。

## 農畜産課

### 《令和1年産米作況・作付面積・収穫量予想》

\*全国の作況指数は100の「平年並み」が予想されます。地帯別の作況指数は、北海道が「102」のやや良、東北・北陸・東海・近畿・中国が99～101の「平年並み」、関東・九州及び沖縄が95～98の「やや不良」、千葉県は98の「やや不良」が見込まれます。

\*主食用米等の水稻作付面積を138万2千ha、前年産実績比4千ha減と推計、収穫量は734万6千トン、前年産実績比1万9千トンの増との見通しです。(米穀データバンク2019.7.31)

### 《米トレーサビリティ制度》

\*生産者から販売・提供までの各段階を通じ、米・米加工品の移動をわかるようにすることです。問題が発生した場合などに流通ルートをややくに特定でき、事業者にとってもコストをかけずに混乱や消費者の買い控えをさけることができます。

伝票を受領・・・「お米」を出荷する際、伝票の受領または、出荷記録を作成する！

3年間保存・・・受領した伝票や記録等は、3年間保存してください！

産地伝達・・・「お米」を出荷する際や、米、米加工品を直接販売する際には、必ず産地を伝えてください！

伝票等確認事項・実際の取引において取り交わされる伝票類において、下記に掲げる事項が記載されていれば、それを保存しておくことで、記録を作成・保存したことになります。

対象品目確認・・・玄米、精米、種粳、米粉、米こうじ等、おにぎり等のご飯、もち、だんご、米菓等

伝票の内容確認・・・品名、産地、数量、年月日、取引先名、搬出入場所、用途

## 購買課

### 《令和2年まき種子もみの予約注文受付中》

\*来年度の作付けに向けて予約注文を受付中です。

ご注文は最寄の経済センターまでお願いします。

## 《令和元年産サツマイモの買取を本年も行います！》

\*焼き芋用、天ぷら用、輸出用等、用途に応じたサツマイモを計画販売します。土付コンテナの集荷にご協力をお願い致します。

なお、品種別の規格および買取価格については、9月中旬位には決定いたします。

詳しい内容は各経済センターへお問い合わせ下さい。

## 《JAかとり 飼料用米対応資金》8月1日より取り扱い開始

生産者が安心して飼料用米生産拡大に取り組むことができるよう十全な対応を行っております。(対象品目：飼料用米・WCS用稲)

【貸付対象者】下記の条件を全て満たす 個人・法人等

- ・組合員であること
- ・農業を営み、または従事していること
- ・信用事業に不安が無いこと

【資金用途】

- ・生産年の水田活用の直接支払交付金交付までのつなぎ資金

【貸付期間】

- ・生産年の交付金交付期限である生産年翌年の3月末まで

\*商品の詳しい内容はお近くの支店窓口までお気軽にご相談ください。

## 《異常気象による自然災害への備えは、万全ですか？》

～火災・台風・洪水・竜巻・落雷・地震などからマイホームを守るJAの建物更生共済

「むてきプラス」～

☆火災や台風・地震など自然災害への保障のほか盗難による盗取・損傷・汚損、また火災や自然災害によるケガの保障もします。

☆掛捨てではなく満期があります。

☆一定の居住用家屋や生活用動産を対象とする場合「地震保険料控除」の適用が受けられます。

異常気象で自然災害が増えている昨今、建物への保障を検討してみてはいかがでしょうか？

**只今、保障点検運動実施中！！** 詳しくは各支店共済窓口へ

発行：JAかとり担い手支援推進本部

編集発行部署：営農販売部営農生活課 Tel0478-70-7712

発行日：2019年8月22日